

市内の有機資源を活かしてスマートに作る。作る人を育て、つなぐ。市内の農地から市内の食卓へ。



バイオ液肥

を利用して美味しい野菜を作れる

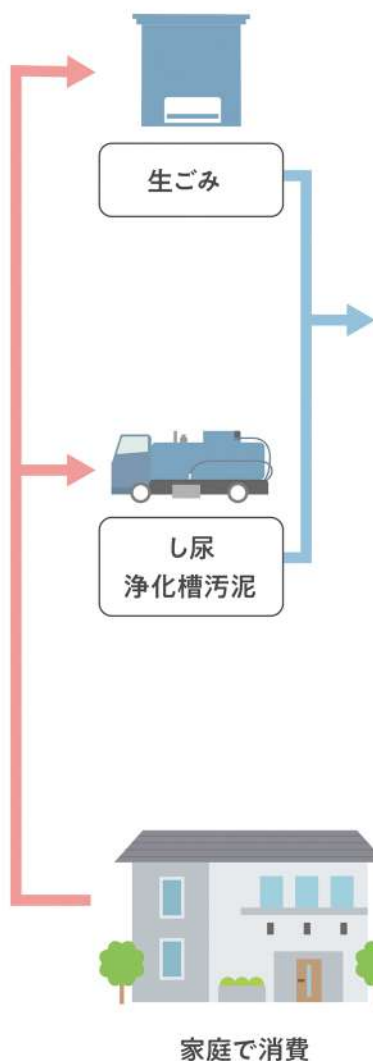
簡単な利用方法



岡山県真庭市

バイオ液肥とは？

バイオ液肥は、生ごみ、し尿肥料取締法に基づき、登



直売所などで販売

生ごみなどをメタン発酵させ、液体肥料として

尿、浄化槽汚泥を、真庭市くらしの循環センターで、メタン発酵させて作ったものです。
録も行っている安全な肥料です。安心してお使いください。



再生。資源の地域内循環を目指します。

目次

1、2		バイオ液肥とは？
3		目次・注意事項
4		 レタス (キク科) 編
5		 スイートコーン (イネ科) 編
6		 キャベツ (アブラナ科) 編
7		 大根 (アブラナ科) 編
8		 ブロッコリー (アブラナ科) 編
9		 たまねぎ (ヒガンバナ科) 編
10		 ほうれんそう (ヒユ科) 編
11		 かぼちゃ (ウリ科) 編
12		 白菜 (アブラナ科) 編
13		 ジャがいも (ナス科) 編
14		 小松菜 (アブラナ科) 編

注意事項

- 元肥は作物ごとに表にしているので目安にしてください。
- 追肥は作物に直接かけないようにしてください。
- バイオ液肥は農薬ではないので、病害虫を防ぐものではありません。
- 作物ごとの栽培方法、農薬などは目安としてください。

レタス(キク科)編



	元 肥		追肥(定植から)	
	たい肥	液肥	10日後	20日後
10a	1000kg	3000L	1000L	1000L
1a	100kg	300L	100L	100L
1㎡	1kg	3L	1L	1L
プランター	0.1kg	0.4L	0.1L	0.1L

※必要によって苦土石灰を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数／4500本から5000本 **春 秋 栽培**／(窒素13kg・リン8kg・カリ10kg)
 1㎡当たり植付量／株間30cm以上で植付してください。
 プランター栽培／0.12㎡で2本植付してください。

栽培の注意点

水はけのよい場所で栽培してください。畝はなるべく高いほうが理想です。
 9月中旬定植までは白黒マルチ、その季節以外は黒マルチで構いません。
 追肥は7～10日後活着してから行ってください。結球までに葉の色が薄いなど感じたら、
 追肥の半分の量をあげてください。(初期生育を早めます)
 追肥は水やりを兼ねて、水と一緒にあげてください。
 栽培適正温度は10～25度(暑さに弱いです)
栽培適正期(春どり・秋どり)の種の発芽は難しいですので、ご相談ください。
 虫はあまりこないと思います。べと病・腐敗病には注意してください。
 菌核病など一度発生すると厄介です。連作を避けたり、殺菌をしてください。
 真庭では栽培しにくいと考えられていましたが、排水をきちんとすればできます。
 とても液肥と相性がよいのでチャレンジしてください。

病気について

腐敗病／べと病／先枯れ病／軟腐病／灰
 色かび病／菌核病

効果のある薬

●アミスター20 ●バリダシン ●ロブラール

害虫被害について

根切り虫／ヨトウ虫／アブラム／オオタ
 バコガ

効果のある薬

●プレバソン ●トレボン ●アフーム

病気予防には**ベジセイバー**が効果があると思います。

スイートコーン(イネ科)編



	元 肥		追肥(播種から)		
	たい肥	液肥	30日後	40日後	50日後
10a	3000kg	1200L	800L	800L	800L
1a	300kg	120L	80L	80L	80L
1㎡	3kg	1.2L	0.8L	0.8L	0.8L
プランター	0.3kg	0.12L	0.08L	0.08L	0.08L

※必要によって苦土石灰を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数／5000本程度

夏 栽培／(窒素25kg・リン25kg・カリ25kg)

1㎡当たり植付量／株間30cm程度で植付してください。広すぎると倒れやすくなります。

プランター栽培／0.12㎡で2本植付してください。

※鉢は大きいもので、支柱が必要だと思います。しっかり支えてください。

栽培の注意点

種から発芽させると強く育ちます。病気には強く育てやすいですが、害虫には気を付けてください。(特にアワノメイガ・アブラムシ)

追肥の1回目(40日)は葉が5枚から6枚、2回目(50日)は雄穂が出穂してから行ってください。※葉の色は結球まで少し濃いめに育ててください。(感覚ですが、虫が来るのを軽減できと思います)

雄穂はとても虫が好みやすいですので、しっかり観察してください。

種からですと、マルチ栽培が可能です。土寄せをしなくても大丈夫です。

レタスの収穫後、マルチを残して栽培するのも可能です。(連作障害防止にもなります)

発芽温度が25度以上で積算150℃くらい必要ですので、トンネルなどで初期の生育を助けると楽です。

イネ科植物ですので液肥はとても相性がいいです。

病気について

モザイク病(アブラムシ対策)／紋枯病

効果のある薬

- リゾレックス水和剤 ●トリフミン水和剤
- ベンレート水和剤

害虫被害について

カメムシ／アワノメイガ／アワヨトウ／アブラムシ

効果のある薬

- ブレバゾン ●スミチオン ●パダン粒剤
- モスピラン顆粒水溶剤

キャベツ (アブラナ科) 編



	元 肥		追肥 (セル苗定植から)		
	たい肥	液肥	10日後	30日後	50日後
10a	2000kg	1200L	800L	800L	800L
1a	200kg	120L	80L	80L	80L
1㎡	2kg	1.2L	0.8L	0.8L	0.8L
プランター	0.2kg	0.12L	0.08L	0.08L	0.08L

※必要によって苦土石灰を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数／3500本から4000本 **春 秋 栽培**／(窒素25kg・リン25kg・カリ25kg)

1㎡当たり植付量／株間35cm以上で植付してください。

プランター栽培／0.12㎡で2本植付してください。

栽培の注意点

虫のよくくる作物です。防虫ネットなどを利用し、虫に負けないようにしてください。

水はけのよい場所で栽培してください。畝はなるべく高いほうが理想です。

初秋は白黒マルチ、その季節以外は黒マルチで構いません。

葉の色は結球まで少し濃いめに育ててください。(感覚ですが、虫が来るのを軽減できると思います)

育苗期に低温障害があると、生育に影響がでますので、苗を作る場合は温度管理に気をつけてください。

定植後のべと病を見かけますので、予防を行ってください。(べと病はどこにもおきますので)

初期の生育をすぎると育てやすいと思います。

病気について

べと病／軟腐病／黒腐病／菌核病

効果のある薬

- アフェットフロアブル ●バリダシン
- レーバスフロアブル

害虫被害について

アオムシ／ヨトウムシ／コナガ／アブラムシ

効果のある薬

- ベネビアOD ●トレボン ●アフアーム

大根(アブラナ科)編



	元 肥		追肥(播種から)		
	たい肥	液肥	10日後	20日後	40日後
10a	1000kg	1200L	400L	400L	400L
1a	100kg	120L	40L	40L	40L
1㎡	1kg	1.2L	0.4L	0.4L	0.4L
プランター	0.1kg	0.16L	0.04L	0.04L	0.04L

※必要によって苦土石灰を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数／4500本から5000本 **春 秋 栽培**／(窒素25kg・リン8kg・カリ15kg)

1㎡当たり植付量／株間30cm以上で植付してください。

プランター栽培／0.12㎡で2本植付してください。

栽培の注意点

種から育ててください。移植を嫌います。

縦に伸びる作物なので柔らかい土にしてください。

排水が悪いと腐敗が起こるので、畝を高くし、排水を良くしてください。

意外と葉に虫がきます。防虫を行ってください。

草防止にマルチを使用するのもいいと思います。

病気について

軟腐病／斑点細菌病／横縞病

効果のある薬

●バリダシン液剤5 ●カッパーシン水和剤

害虫被害について

コナガ／アオムシ／カブラハバチ

効果のある薬

●ブレバソン ●アルバリン顆粒水溶剤

ブロッコリー (アブラナ科) 編



	元 肥		追肥(定植から)		
	たい肥	液肥	10日後	20日後	40日後
10a	3000kg	1200L	800L	800L	800L
1a	300kg	120L	80L	80L	80L
1㎡	3kg	1.2L	0.8L	0.8L	0.8L
プランター	0.3kg	0.12L	0.08L	0.08L	0.08L

※必要によって苦土石灰(10a当たり3t)を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数/4500本から5000本 **春 秋 栽培**/(窒素30kg・リン20kg・カリ30kg)

1㎡当たり植付量/株間50cm以上で植付してください。

プランター栽培/0.12㎡で1本植付してください。

栽培の注意点

虫のよくくる作物です。防虫ネットなどを利用し、虫に負けないようにしてください。

水はけのよい場所で栽培してください。

畝はなるべく高いほうが理想です。マルチで栽培できます。

初期生育を早め、葉っぱを大きく育ててください。可食部も大きくなりやすいです。

育苗期に低温障害があると、生育に影響がでますので、苗を作る場合は温度管理に気をつけてください。

基本はキャベツの栽培とよく似ています。

春の収穫は花が咲きますので早めに収穫し、冷やしてください。

べとなどの病気がくると、最後まで黄色くなった状態になりますので、予防など行ってください。

病気について

べと病/花蕾腐敗病

効果のある薬

●アミスター20 ●スターナ水和剤

害虫被害について

アオムシ/コナガ/アブラムシ/カブラハバチ/ヨトウムシ

効果のある薬

●ベネビアOD ●マラソン乳剤

たまねぎ(ヒガンバナ科)編



	元 肥		追肥(定植から)		
	たい肥	液肥	12月末	1月末	2月末
10a	2000kg	1200L	400L	400L	400L
1a	200kg	120L	40L	40L	40L
1㎡	2kg	1.2L	0.4L	0.4L	0.4L
プランター	0.2kg	0.16L	0.04L	0.04L	0.04L

※必要によって苦土石灰(10a当り1,000kg)を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数／10,000本から12,000本 **春 秋 栽培**／(窒素13kg・リン8kg・カリ10kg)

1㎡当たり植付量／株間25cm、条間10cm以上で植付してください。

プランター栽培／0.12㎡で5本植付してください。

栽培の注意点

苗は良い物を使用してください。(鉛筆より少し細いのが理想です)苗で最終が変わると思います。マルチはあったほうがよいと思います。

雑草管理が冬と言えたいへんです。温度も保てていいと思います。あと、マルチがあれば霜柱が少しでも抑えられて、根を守ることができます。雪の降る間は、あまり大きく育てないでください。折れるより小さい方が後々良い結果になります。

定植後からは、べと病には十分注意してください。(農薬散布の場合展着剤を忘れずに)葉っぱ1枚なくなると実が1枚なくなると思ってください。

畝は高めで、水はけを良くしてください。

初期生育と病気さえ気にすればよいものが作れると思います。

病気について

べと病／苗立枯病／白色疫病／腐敗病

効果のある薬

●べトファイター ●リドミルゴールド

害虫被害について

タネバエ／ネギアザミウマ／ネギアブラムシ

効果のある薬

●ブレバソン ●トレボン ●アフーム

ほうれんそう(ヒユ科)編



	元 肥		追肥(定植から)		
	たい肥	液肥	10日後	20日後	40日後
10a	3000kg	1200L	800L	800L	800L
1a	300kg	120L	80L	80L	80L
1㎡	3kg	1.2L	0.8L	0.8L	0.8L
プランター	0.3kg	0.12L	0.08L	0.08L	0.08L

苦土石灰10a当たり150kg使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数／10万本程度

秋 栽培／(窒素20kg・リン15kg・カリ25kg)

1㎡当たり植付量／株間5cm程度でしてください。(100本程度)

プランター栽培／0.12㎡で50本植付してください。

栽培の注意点

酸性土壌では栽培しにくいので、Ph6.5以上で栽培してください。苦土石灰の入れすぎに注意してください。(10a150kg目安)

べト病に抵抗性のある品種を選んでください。連作障害がでます。(2年以上の目安)

低温多湿、厚播きや排水が悪い土壌はべト病、炭そ病の発生を助長するので注意してください。排水性のよい場所か、畝立てをして栽培してください。

追肥を数回に分けて、水やりと一緒に作業にしても構いません。

冬の栽培で、寒さには強いですが、低温を感じすぎると赤色に変化するので、トンネルなどを利用してください。葉が黄色になることがあります。カルシウム欠乏かマグネシウム欠乏の可能性が高いです。苦土石灰を使用してください。

あまり肥料が多いと葉が固くなりますので、追肥は水に薄めてあげてください。(2回目の追肥は葉の色など様子をみてください)

追肥は葉っぱにはかけないでください。根元もしくは少し離れたところにあげてください。

連作障害に注意してください。2年以上あけるか、他の科の作物の栽培をしてください。

モザイク病は感染すると治療がないので、感染源の害虫予防を行ってください。

病気について

べト病／モザイク病

効果のある薬

●ランマンフロアブル

害虫被害について

アブラムシ／ヨトウムシ

効果のある薬

●アルバリン粒剤 ●アファーム乳剤

かぼちゃ(ウリ科)編



	元 肥		追 肥	
	たい肥	苦土石灰	20日後	着花後
10a	3000kg	160kg	1600L	1600L
1a	300kg	16kg	160L	160L
1㎡	3kg	1.6kg	1.6L	1.6L

苦土石灰を10a当たり160kg使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量(露地・えびす)

植付本数／400本から500本

春 栽培／(窒素23kg・リン25kg・カリ30kg)

1㎡当たり植付量／株間2m以上で植付してください。

栽培の注意点

定植後、低温とウリバエに注意してください。初期生育で大きくすると安心できます。
できる範囲で、うどんこ病、ハダニ、アブラムシの防除を行えば生育に影響が少ないです。

追肥は、定植後10日後と第1花の着花後に行ってください。

株元の草押さえ等しておくと後々作業がしやすいです。

西洋カボチャは摘芯はあまり必要ないです。

受粉がとても大切ですので、花が咲きだしたら、農薬を控えましょう。

かぼちゃ自体が水にあたる場所にあると腐れて収穫できなくなりますので、斜面で栽培するか、畝を立てて実を上置くなど水に注意してください。

収穫は付け根がコルク状になってから収穫しましょう。

保存は風通しのよい日陰で。

病気について

うどんこ病／疫病／べと病

効果のある薬

●アミスターオブティフロアブル

害虫被害について

ウリバエ／ハダニ／アブラムシ

効果のある薬

●マラソン乳剤 ●アディオン乳剤

白菜 (アブラナ科) 編



	元 肥		追肥(定植から)		
	たい肥	液肥	10日後	20日後	血球開始後
10a	1000kg	1200L	800L	800L	800L
1a	100kg	120L	80L	80L	80L
1㎡	1kg	1.2L	0.8L	0.8L	0.8L
プランター	0.1kg	0.12L	0.08L	0.08L	0.08L

※必要によって苦土石灰を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数／2800本から3700本

春 秋 栽培／(窒素30kg・リン8kg・カリ10kg)

1㎡当たり植付量／株間40cm以上で植付してください。

プランター栽培／0.12㎡で2本植付してください。

栽培の注意点

水はけのよい場所で栽培してください。ただし乾燥は嫌いますので、必要な水はあげてください。

追肥は3回書いていますが、水やりを兼ねていますので、20日後と結球開始後でも構いません。

ホウ素欠乏がやすいので、心配でしたらFTE(4kg/10a)などの肥料を使用してください。

結球が悪い時がありますが、温度の関係が大きいです。

品種に合わせた栽培時期は守りましょう。

排水性が必要ですので、畝を立てて栽培してください。

土寄せをするか、マルチを使用してください。

病気と虫が時期によっては非常に多い作物です。

早めに予防の薬を使うことをおすすめします。

病気について

軟腐病／べと病／菌核病／白さび病

効果のある薬

●スターナ水和剤 ●シグナムWDG

害虫被害について

アブラムシ／コナガ／アオムシ／ヨトウムシ／カブラハバチ

効果のある薬

●ウララDF ●プレバソン ●トレボン

じゃがいも(ナス科)編



	元 肥	追肥(芽だしから)	
	たい肥	芽かき後	40日後
10a	2000kg	800L	800L
1a	200kg	80L	80L
1m ²	2kg	0.8L	0.8L
プランター	0.2kg	0.08L	0.08L

※必要によって苦土石灰を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

植付本数／7000個程度

春 栽培／(窒素14kg・リン20kg・カリ15kg)

1m²当たり植付量／株間30cm程度でしてください。(7個程度)

プランター栽培／0.12m²で1個植付してください。

栽培の注意点

連作はよくありません。弱酸性がよく、アルカリ質になるとそうか病になりやすいので石灰の使用に注意してください。

3月までには植付をしますので、芽が出た後の霜にだけは十分注意してください。

種芋を日光にあて、芽をしっかりとさせて植えれば、生育が促進されます。

マルチをすれば防草かわりになりますが、なくても構いません。ただし土寄せが必要な場合があります。

畝は高く作って、柔らかい土にしてください。水はけのよい場所で栽培をしてください。

背丈が10cmくらいになったころ、芽かきを行い2から4本にします。そのあとに一回目の追肥をしてください。

黄変するか、倒れが8割くらいになったら天気の良い日に収穫して、日蔭で干しましょう。

大きさを揃えて作るのは難しいですが、霜さえ注意すれば比較的簡単に作れると思いますのでチャレンジしてください。

そうか病については、無菌の種芋(購入)を購入すれば防ぎやすいです。

病気について

そうか病／疫病／軟腐病

効果のある薬

●コサイド3000 ●アグリマイシン100

害虫被害について

アブラムシ

効果のある薬

●ウララDF

小松菜(アブラナ科)編



	元 肥		追肥(定植から)	
	たい肥	液肥	10日後	20日後
10a	1000kg	1200L	400L	400L
1a	100kg	120L	40L	40L
1㎡	1kg	1.2L	0.4L	0.4L
プランター	0.1kg	0.12L	0.04L	0.04L

※必要によって苦土石灰を使用してください。

10a当たり施肥設計及び栽培量

春 栽培／(窒素9kg・リン20kg・カリ15kg)
1㎡当たり植付量／株間・条間5～6cmでしてください。
プランター栽培／株間・条間5～6cmでしてください。

栽培の注意点

連作障害は出にくいですが、肥料をきちんとあげてください。

1年を通じて栽培が可能です。(生育適温は20～25度)寒さには強いです。

夏は露地ですと遮光等で温度を下げ、冬はトンネルをすると栽培が比較的簡単になります。

1回目の間引きは、本葉が1～2枚出たとき、2回目の間引きは草丈が7～8cmになったとき行います。2回目の間引きのあと追肥してください。

穴あきマルチを使用し、コーティング種子を2～3粒でまくと、あまり間引きも必要ありません。たい肥を少し多めにし、液肥を種まき後に追肥をすると、2回くらいはマルチを張り替えずに栽培できます。

収穫は25cmくらいが目安です。

比較的簡単に栽培できます。

防虫ネットなどで害虫対策をすればより簡単に栽培できます。

病気について

短期間栽培なのであまり必要ないです。

害虫被害について

アブラムシ／アオムシ

効果のある薬

●ダントツ ●コテツフロアブル



バイオ液肥で、 美味しい野菜を 一緒に作りましょう。



※最新の肥料成分等については真庭市のホームページをご確認ください。

わからないことがあればこちらまで

真庭市 産業観光部 農業振興課

☎0867-42-1031

2024.12